

しんち

広報

7月1日現在
🏠 1.902世帯
♂ 4.147人
♀ 4.348人
合計 8.495人

自然はみんなのもの



とじておきましょう。

自然を守ろう

近年、盆栽や庭園造りが静かなブームで一般家庭に広まってきています。これは機械文明が進んだ現在において人間本来の姿に帰ることであり、大変うれしいことです。

しかしこれら盆栽や庭園を造るのに不可欠のものである自然石や松、つつじのような樹木を平気で自然の山野から持ち帰ることは良くなりません。

これら自然の資源は、私たち個人のものではありません。

このようなことを続けてゆけば自然は破壊され、特殊な植物は絶滅してしまうおそれがあります。

私たちみんなの財産である美しい自然、美しい環境をみんなの力で守りましょう。

自然環境を守るため、福島県自然保護指導員に杉目の加藤輝男氏が任命され、保全地域の巡視、自然保護の指導に当たっております。

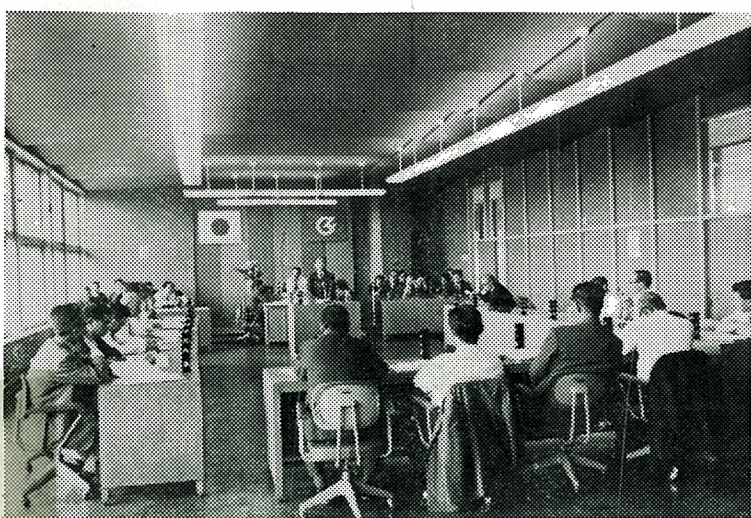
六月定例議会

原案どおり可決

印鑑条例など五議案

六月十七日、十八日の両日に六月定例町議会を開催し、「新地町印鑑条例」など五議案を審議し、それぞれ原案どおり可決しました。可決議案のおもな内容はつぎのとおりです。

- △改正について
 - 人事院勧告に伴い、六月四日法律第七十四号で国家公務員の給与改正にしたがい、一〇割の給与を四月一日にさかのぼり支給する
- ▽新地町交通指導員条例の一部改正について
 - これまでの一回につき五百五十円の報酬を一日につき六百円とし公務旅費の費用弁償をするものとする。



録原票の謄本を交付する間接証明方式に替え、窓口の待時間の短縮をはかり、同時に代理人が申請する場合、必要とした委任状にかえて、収入印紙の必要な代理人選任届によって、申請できるようにする。

- ▽常磐線深町踏切道の廃止について
 - 現在町道菅谷今神線の改修計画により新たに踏切が北寄りになるというもので、その時点で廃止する
- ▽昭和四十九年度一般会計補正予算について
 - 今回七百二十二万四千円を補正し、総額五億八千二百四十四万八千円となり、その主な内訳はつぎのとおりです。

- 議会費 三十四万三千円
- 総務管理費 四十二万円
- 休耕田復元除草剤補助金 五十万円
- ほ場整備事業費 六十七万六千円
- 造林事業費 三十七万七千円
- 水産業振興費 二十九万五千円
- 道路新設改良費 五十九万九千円

- 橋梁維持費 二十二万円
- 駒ヶ嶺小学校放送設備一式購入費 四十八万五千円
- 尚英中学校用務員室改良工事費 二十四万八千円
- 尚英中学校給水管工事費 五十万円
- 新地町民プール塗装費 四十万円

- 日本国有鉄道常磐線七駅停留所化計画に伴う反対決議案が議員提出の形で出され、これを満場一致で可決し、ただちに水戸鉄道管理局長に提出した。
- 決議案はつぎのような内容です
- 一、趣旨
 - 常磐線駒ヶ嶺無人化等計画を中止し、住民の利便およびサービスの向上、地域の発展をはかってもらいたい。
 - 二、理由
 - 国鉄水戸管理局は、常磐線駒ヶ嶺の無人化を計画し、昭和五十年三月を目途に実施する方針のようですが、このような計画が行われるとつぎのような弊害が発生することが明らかです。

駒ヶ嶺駅無人化等

反対特別委員決る

- 委員長 宍戸 喜代治
- 副委員長 武田 正信
- 委員 桜井 誠一
- 菅野 福治
- 菅野 浩治
- 大和田 伝
- 佐藤 武夫
- 菅野 健太郎

郷土の人々

渡辺文弥

渡辺文弥は、明治から昭和初年にかけて、福島県教育界の重鎮として活躍した。

明治二年九月二十六日、福田の鉄炮町に生れ、福島師範学校を卒業し、棚倉高等小学校長、静岡県沼津高等小学校長、福島第一高等小学校長を経て、福島師範学校教諭、須賀川商業学校長、同実科高等女学校長等を歴任した。この間福島県小学校長協議会長を務め、福島県教育界に大きな影響を与えた。

昭和十年七月二十二日に死去し昭和十二年に福島県小学校長協議会編の「渡辺文弥先生片鱗」が発行されたが、その中に、「渡辺文弥の教育観」と題して吉田栄氏が

次のように書いている
「一、「導之以身主義」筆者は、先生に師事すること十年、この間部下職員の中には、執務上の手落ちなどがあつたが、つねに己れを省りみ、一度たりとも不快不満を顔に現わされなかつた。

二、「一源三流の訓」先生は常に筆者に「君、神人共に至誠にして動かさざるものはないからな」と訓えられ、児童に対してもまた「至誠」を基本とし、この至誠を源とした三流の訓を示された。

「人は、至誠を基とし、血あり、汗あり、涙ある社会生活を営まねばならぬ」ことを強調された。

三、在任当時ににおける修養
先生の机上は、修養に関する書籍で埋められていた。また数珠をポケットに入れておき、心に不平不満があるときは、冥目して手をポケットに入れ、心の落着



臥牛城

山口 久 夫

今千方面より西方を望めば西空に浮かぶ小高い山、それが通称御館山、正しくは臥牛城跡(時代により子盾嶺城、駒ヶ嶺城、駒ヶ嶺館と称した)であることは、衆知のとおりである。では、この城はいつの時代に誰によって築かれ又どのような変遷があつたのか?それにはまず藤崎屋にさかのぼらねばならない。藤崎屋は今を去る約六百年の昔すなわち南北朝時代に南朝の忠臣であつた北畠氏の族下であり黒木城を本城として宇多一円を領した黒木大膳亮正光が関東石巻の連絡所として築いたものである。しかるに黒木大膳正の裔である弾正信房の代にいたつて南北朝抗争の遠因もあり当時小高城にあつて次第にその勢力を台頭しつつあつた相馬頭胤に計られ一族共に相馬原(駒ヶ嶺)の露と消え、名

間になつたり教育の道一すじに専念された。また、郷里のためにも活躍され「大字福田協会」の設立に大きな役割を果たしている。

族黒木氏は全く滅亡した。時あたかも天文十二年であつた。そしてその領有地である現在の新地福田駒ヶ嶺はすべて相馬氏の手の中に帰したわけである。

ところで黒木大膳亮正光が連絡所として藤崎に屋を構築して以来黒木氏滅亡まで凡そ二百年のあいだ、こゝ藤崎屋が、そのまゝ連絡所としての役割を果たしていたかといえはおよそ南朝時代の、しかも北畠氏の拠る靈山城が健在の間(正平六年二月落城)だけに限られその後は単に支配統治の出先機関的なものであつたか、あるいは全く御用済であつたか、いずれ共もろんで定かではない。たゞ相馬頭胤が黒木氏討滅後藤崎屋に原如雪を置いたがそれは新旧領主交替に伴う必要な支配宣撫の意味しかなかつたのではないかと思

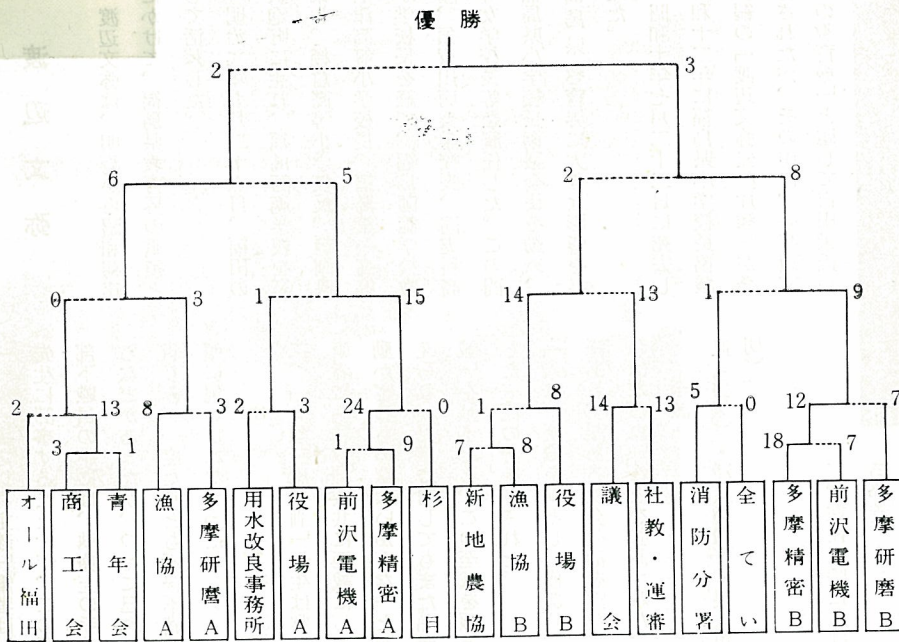
われる。しかし、時あたかも群雄割拠し天下争乱の戦国時代でもあつたので、支配よりは、むしろ戦略的価値(伊達に対する)が必然的に要求されるようになったであろうことは、きわめて自然のことといえよう。しかも城址とは元來その地方における戦略上、交通上の要衝に築かれるという常識から判断しても、当然藤崎の地よりは現在の御館山がはるかに城地に適した地形であることは容易にうなづけることである。従つて天正時代相馬頭胤の子である盛胤が、山を切り開いて現在の臥牛城を築いたのも時勢に対する戦略的な深慮からであろうことはいうまでもない。

そして原如雪の子である藤崎振津が臥牛城の城代となり藤崎屋は廃されたわけである。しかるに、その後相馬盛胤の子である外天義胤の時(天文十七年)伊達軍五千の猛攻を受け、僅かに四十数人で守る臥牛城(城代藤崎治部久長藤崎振津の子)は善戦空しく新地福田の諸城と共に落城し、以来駒嶺以北は伊達の領有するところとなつた。

町民ソフトボール大会

優勝多摩精密Bチーム

町民ソフトボール大会は七月二
十一日午前八時三十分から二十
一ムの参加によって行われました
その結果はつぎのとおりです。



町長日記

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|
| 五月 | 21日 県簡易水道協会理事会総会 | 12日 県土地改良事業団体連合会総会 |
| | 23日 日本道路協会総会 東京 | 13日 相馬地方水道協議会監査役員会 総会 |
| | 24日 県東北新幹線建設促進協議会総会 福島 | 14日 議会建設委員会 |
| | 25日 新地漁業協同組合総会 | 17日 定例会(18日まで) |
| | 県身体障害者福祉会相馬支部会 | 20日 土地改良理事會 |
| | 27日 練習船福島丸修被式・竣工披露式 いわき | 21日 工場立地議会 |
| | 28日 新地町商工会総会 | 22日 公害対策議会 |
| | 29日 農業委員会 | 24日 土地改良事業団体連合会原町支部総会 |
| | 30日 農業信用基金協会総会 | 25日 農業委員会 |
| | 31日 県選挙管理委員会連合会総会 福島 | 26日 こつぶき学級開講式 |
| 六月 | 1日 相馬地方市町村会定例会 | 27日 県相馬地域開発促進対策本部幹事會 |
| | 2日 県傷い軍人妻の会総会 | 28日 婦人学級開講式 |
| | 4日 県町村会定期総会 福島 | 30日 相馬原町地区更正保護婦人会 総会 |
| | 5日 市町村長会議・県農業構造改善対策協議会総会 | 七月 |
| | 6日 県町村議長会総会 | 2日 電話加入説明会(3日まで) |
| | 7日 地域開発視察 青森県六ヶ所村(8日まで) | 9日 県精神衛生協会総会 |
| | 10日 新地町防犯協会総会 | 10日 相馬地方広域市町村圏組合議会 |
| | 11日 県治水協会総会 県砂防協会総会 福島 | 15日 県学生寛評議員會 |
| | | 16日 常磐線複線化等陳情(17日まで) |
| | | 18日 飯館村生活改善センター落成式 |
| | | 20日 釣師浜海水浴場海開き新地町交指導員会総会 |

▽出生

おめでとございます
六月届出

美千代	目黒和男	小川
勝幸	小野万吉	釣師
理枝	寺島正治	釣師
剛司	橋千里	釣師
幸英	森武彦	今泉
和則	戸田功	町
良範	岡元金良	鉄炮町
貴志	小泉武志	中島

▽死亡

お悔み申しあげます
六月届出

木村シユク	88	波民
水戸エナヨ	81	町
砂金さつき	90	釣師
佐藤きみ子	55	藤崎
高橋三郎	77	小川
加藤直次郎	43	町
阿部正喜	77	城内

